

日本の伝統色、和の文様～あなたのためのお誂え～


教科書 P64～65、88～89 資料集 P148～151

売っている着物には大きく分けて「仕立て上がり」「仮絵羽」「お誂え」の3つがあります。

「仕立て上がり」とは既製服のこと。「仮絵羽」は仮縫い状態のことで、後から着る人に合わせて仕立て直しができる、セミオーダーを言います。そして「お誂え」とは、生地を買い、裁断から仕立てまで全て着る人に合わせて着物が作られる、フルオーダーのことです。白生地を買って、染めから全てを注文することもできます。

さて、皆さんは依頼人であり、着物を作る「和裁士」でもあります。生地を柄をデザインして、着物を作ってみましょう。

＜依頼書＞

依頼人氏名		☆☆ ☆☆	和裁士氏名	◎◎ ◎◎
色 日本の伝統色	① 白 <input type="checkbox"/>	文様	①(和柄) 隅立て卍くすし 	
	② 藤色 <input type="checkbox"/>		②(自由) 花	
	③ 露草色 <input type="checkbox"/>		③(自由) 蝶	
その他要望	特になし			

＜受領書＞

細かいところまで丁寧にデザインされていてすごいと思いました。
色も依頼した色が正確に表現されていました。
下にたれている花の部分がとくに素敵だなと思いました。
また、花と蝶などの全体のバランスが良く、とても綺麗でした。

※ 生徒が作成したプリントを打ち直して掲載しています。